

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 10 月 23 日 (2014.10.23)

【公表番号】特表 2013-543637 (P2013-543637A)

【公表日】平成 25 年 12 月 5 日 (2013.12.5)

【年通号数】公開・登録公報 2013-065

【出願番号】特願 2013-531671 (P2013-531671)

【国際特許分類】

H 0 1 B 9/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/3492 (2006.01)

H 0 1 B 7/02 (2006.01)

H 0 1 B 3/44 (2006.01)

H 0 1 B 9/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 9/00 A

C 0 8 L 23/00

C 0 8 K 5/3492

H 0 1 B 7/02 Z

H 0 1 B 7/02 F

H 0 1 B 3/44 F

H 0 1 B 3/44 P

H 0 1 B 9/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 9 月 3 日 (2014.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導体；

最も外側の不透明層；

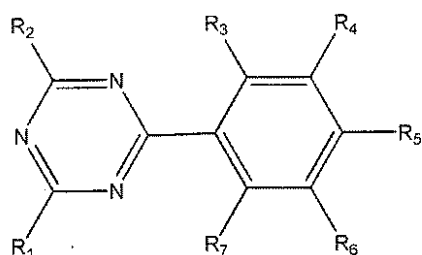
前記導体の上にあり、前記導体と前記最外層との間に位置している内部層を備える被覆導体であって、前記内部層が、

ポリオレフィン；及び

構造 (I) のトリアジン

【化 6】

(I)



を含むポリマー組成物を含み、

上式で、 $R_1 - R_7$ は同じであるか又は異なり、 $R_1 - R_7$ の各々は、水素、 $C_1 - C_{30}$ ヒドロカルビル基、置換 $C_1 - C_{30}$ ヒドロカルビル基、ヒドロキシル基、及びそれらの組合せからなる群から選択される、被覆導体。

【請求項 2】

前記ポリオレフィンが、ポリエチレンである、請求項 1 に記載の被覆導体。

【請求項 3】

前記ポリオレフィンが、架橋ポリエチレンである、請求項 1 に記載の被覆導体。

【請求項 4】

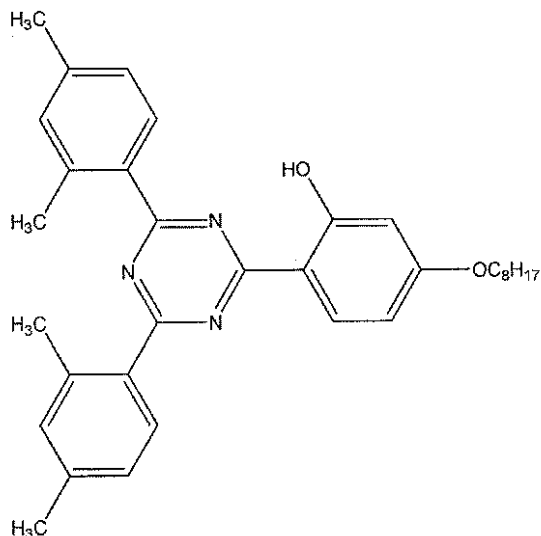
$R_1 - R_2$ のうちの少なくとも 1 つが、 $C_1 - C_{30}$ ヒドロカルビル基である、請求項 1 に記載のポリマー組成物。

【請求項 5】

前記トリアジンが、構造 (II)

【化 7】

(II)



を有する、請求項 1 に記載の被覆導体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

本開示は、本明細書に記載される実施形態及び実例に限定されるものでなく、それらの実施形態の変形形態を含むことが特に意図され、それには実施形態の部分、及び以下の特許請求の範囲内となる様々な実施形態の要素の組合せが含まれる。

本発明は以下の態様を包含し得る。

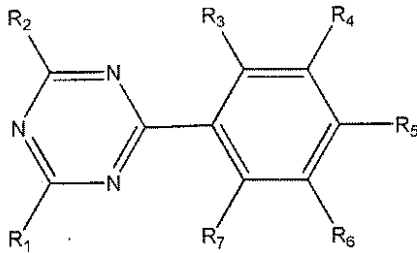
[1] 導体；

最も外側の不透明層；

前記導体の上にあり、前記導体と前記最外層との間に位置している内部層
を備える被覆導体であって、前記内部層が、
ポリオレフィン；及び

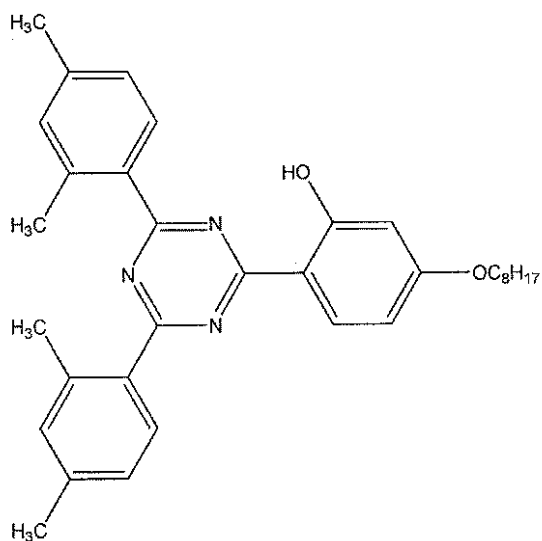
構造 (I) のトリアジン【化 4】

(I)

を含むポリマー組成物を含み、上式で、R₁ - R₇ は同じであるか又は異なり、R₁ - R₇ の各々は、水素、C₁ - C₃₀ ヒドロカルビル基、置換 C₁ - C₃₀ ヒドロカルビル基、ヒドロキシル基、及びそれらの組合せからなる群から選択される、被覆導体。[2] 前記ポリオレフィンが、ポリエチレンである、上記 [1] に記載の被覆導体。[3] 前記ポリオレフィンが、架橋ポリエチレンである、上記 [1] に記載の被覆導体。 [4] R₁ - R₂ のうちの少なくとも1つが、C₁ - C₃₀ ヒドロカルビル基である、上記 [1] から [3] のいずれか一項に記載のポリマー組成物。[5] R₁ - R₂ のうちの少なくとも1つが、置換 C₁ - C₃₀ ヒドロカルビル基である、上記 [1] から [3] のいずれか一項に記載のポリマー組成物。[6] R₁ - R₂ のうちの少なくとも1つが、アリール基を含む、上記 [1] から [5] のいずれか一項に記載の被覆導体。[7] R₁ - R₂ の各々が、アリール基を含む、上記 [1] から [6] のいずれか一項に記載の被覆導体。[8] 約 0 . 1 重量 % ~ 約 3 重量 % のトリアジンを含む、上記 [1] から [7] のいずれか一項に記載のポリマー組成物。[9] 前記被覆導体が、中電圧電力ケーブル、高電圧電力ケーブル、及び超高電圧電力ケーブルからなる群から選択される、上記 [1] から [8] のいずれか一項に記載の被覆導体。[10] 前記内部層が絶縁層である、上記 [1] から [9] のいずれか一項に記載の被覆導体。[11] 前記内部層が遮蔽層である、上記 [1] から [9] のいずれか一項に記載の被覆導体。[12] 前記トリアジンが、構造 (II)

【化 5】

(II)



を有する、上記〔 1 〕から〔 1 1 〕のいずれか一項に記載の被覆導体。